

平成26年4月18日

## 四国地域の経済動向（概要） （平成26年2月分）

### 四国地域の経済は、持ち直している

- 生産** 鉱工業生産は、持ち直しの動きで推移している。  
鉱工業生産指数は、2カ月連続で前月比が上昇。
- 個人消費** 個人消費は、一部に消費税率引上げに伴う駆け込み需要もみられ、持ち直している。  
大型小売店販売額(全店)は、6カ月連続で前年を上回った。  
コンビニエンスストア(全店)の販売額等は、12カ月連続で前年を上回った。  
家電販売は、エアコン、冷蔵庫、パソコンなどで前年を上回ったことから、全体では7カ月連続で前年を上回った。  
乗用車新車新規登録・届出台数は、軽乗用車、普通乗用車、小型乗用車で前年を上回ったことから、全体では6カ月連続で前年を上回った。
- 住宅投資** 新設住宅着工は、弱含みとなっている。  
新設住宅着工戸数は、持家、分譲住宅で前年を下回ったものの、貸家で前年を上回ったことから、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 倒産** 企業倒産は、落ち着いた動きであるものの、今後の動向に注視が必要である。  
倒産件数は10カ月連続で前年を下回り、負債総額は2カ月ぶりに前年を下回った。
- 雇用** 雇用情勢は、改善している。  
有効求人倍率は2カ月ぶりに上昇し、一般新規求人数は11カ月連続で前年を上回った。
- 公共工事** 公共工事は、増加の動きに一服感がみられる。  
公共工事請負金額は、11カ月ぶりに前年を下回った。

### 【四国の経済指標】

平成26年 2月

	四 国		全 国		
	前月比(%)	前年同月比(%)	前月比(%)	前年同月比(%)	
鉱工業生産指数 (平成22年=100、季節調整済 前年同月比は原指数)	107.0	1.8	5.1	101.5 ▲ 2.3	6.9
鉱工業出荷指数(＼)	101.8 ▲ 0.4	0.4	103.9 ▲ 1.0	6.0	
鉱工業在庫指数(＼)	92.0 ▲ 0.8	▲ 7.8	103.8 ▲ 0.8	▲ 3.2	
大型小売店販売額(単位:億円) (全店)	380	3.1	14,686	2.4	
(既存店)		1.2		1.3	
乗用車新車新規登録・届出台数(単位:台)	16,885	24.2	490,506	18.8	
新設住宅着工戸数 (単位:戸)	1,784	14.7	69,689	1.0	
輸出通関額 (単位:億円)	960	12.7	57,993	9.8	
輸入通関額 (単位:億円)	1,169	▲ 14.9	66,018	9.0	
企業倒産件数 (単位:件)	18	▲ 14.3	782	▲ 14.6	
有効求人倍率 (季節調整済)	1.09 (前月差	0.01)	1.05 (前月差	0.01)	
電力需要(大口需要) (単位:百万kWh)	575	▲ 1.1	20,940	2.5	
公共工事請負金額 (単位:億円)	265	▲ 12.8	6,959	3.7	

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。

(本発表資料のお問い合わせ先)

四国経済産業局総務企画部調査課 担当者：山内課長、朝倉補佐、上岡専門職

電話：087-811-8509 (直通)

四国経済産業局ホームページアドレス <http://www.shikoku.meti.go.jp>

# 管内経済指標の推移

